

---

# 記念日と食事で一万字。

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

記念日と食事で一万字。

### 【Nコード】

N9339Z

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

コトダマ企画再チャレ。二枚で終わってもうた。

作家松岡啓一はあつつあつのごはんにキムチを山ほど乗せその上に生卵をかけてばくばく食った。「んまい。最高だぜ。いつひひひ」執筆が終わったあとの丼は真面目にんめいと松岡は実感する。爽快。晴れ渡る空のよう。松岡は、原稿を編集部にファックス送信した。編集部では、編集長が、チキンラーメンをずるずる食べていた。編集長は車を買ったばかりゆえ、贅沢ができない。チキンラーメンに生卵を落とすこともできない。送られてきた松岡の原稿を眺める。くそつまらんかったが、書き直しさすのも面倒だったから、オツケーということにした。

松岡はキムチ丼を食べてから布団を敷いて寝た。十時間は寝てやるうと企んでいる。

夢の中で、彼女の華子とレストランでステーキを食べていた。「華子。松阪牛ってんまいね」「霜降りがいいよね」

華子はヒレ肉のステーキで松岡はサーロインステーキである。

ただ松岡は夢を見る前、キムチ丼を現実で食べていたのを急に思い出して気持ち悪くなってきた。「華子。もう食べらんないよ」「じゃあデザートにしましょうよ」

杏仁豆腐が運ばれてきた。

なんと運んできたのは店員ではなく、編集長だった。「オレはチキンラーメンだったちゅうのに贅沢しやがって腹立つ」編集長は立ちながら、松岡の杏仁豆腐を食べ始めた。「あつ編集長。こら。やめなさい」「うるへー黙れ。おもしろい作品書かんから罰だ」

編集長は、編集長のソファで寝ていた。昨日、作家の家に泊まり込みで徹夜だったんで、ごつつ眠かったのだ。

編集長は夢の中で高級寿司屋のカウンターに座っていた。現実で、チキンラーメンばっかだからこういふ夢を見てしまうんだろう。

「大将。中トロ」

「あいよつ中トロね！」

大將は見事な手さばきで寿司を握った。「お待ち！」「ありがとう」大將が握った寿司を自分の口に運んだ。「むしゃむしゃ。んま  
い。わし天才」「てめえ、あつ」編集長が大將の顔を見たらなんと  
松岡だった。「さっきの仕返しですよ。むしゃむしゃ」「チキシヨ  
ー！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9339z/>

---

記念日と食事で一万字。

2011年12月29日04時48分発行